

● 出展デモ一覧(順不同)

	出展者	タイトル	概要
1	NTT人間情報研究所	超臨場感コミュニケーションをIOWNで実現する表現技術「裸眼XRあいせき技術」	何も装着せず誰もいないソファに座るだけで、キャラクターや遠隔の人とあたかもふたりでひざを突き合わせて相席感覚で話せるコミュニケーション表現技術。SF映画のようなホログラムが当たり前にある世界を体験するデモを行います。
2	NTT人間情報研究所	リアル世界の体感を再現するXRスポーツ空間生成技術	実レースにて収録した映像・音響データから映像・音響・振動・アバタによる仮想的なレース空間を再現することにより、ブース設置の自転車を用いて空間内を自由に走行しつつ選手たちと一緒に走っているかのような”共走”体験を提供します。
3	NHK放送技術研究所	光源アレーを用いた3次元ディスプレイ	視点位置に応じて自然な3次元映像を表示する技術の研究を進めています。電氣的に切り替え可能な光源アレーを用いることで、好みに応じて3次元映像と2次元映像を選択して視聴できるディスプレイを開発しました。
4	アストロデザイン株式会社	8K映像技術を活用した3フォーマットカメラ	8192 x 8192ピクセルのイメージセンサを搭載した世界最高クラスの解像度を持つビデオカメラを紹介します。8K8K 60p、8K4K 120p、8K2K 240pの3つのフォーマットで撮影することが可能です。
5	株式会社ソリッドレイ研究所	最新ソリューションのご案内	産業用VRシステムの導入事例や、自社開発VRソフトウェア「moage」をはじめ「マーカレスモーションキャプチャ技術」や「最高峰HMDへの対応」などの最新ソリューションをご紹介します。
6	産総研人間情報インタラクション研究部門 東京情報デザイン専門職大学 氏家研究室	VR酔いの程度を決定するオプティック・フロー — 頭部運動によるレティナル・フローとオプティック・フローの分離 —	バーチャルリアリティ環境での視覚的な動きが酔いを引き起こす場合があります。この「VR酔い」は、レティナル・フローではなくオプティック・フローにより生じることを示唆した実験映像を体験いただけます。
7	東京大学・都立大学	XR遠隔対話システム	アバターロボットの全方位立体視カメラの位置に、遠隔からHMDでロボットを利用しているユーザのCGアバターをHoloLensで表示して対話を行うことが可能なXRシステムを実演します。
8	東京大学 VRセンター	Dynamic Split Body: 身体分裂と半身位置の操作による身体知覚と自己位置の変容	1体のアバタを左右に分裂させ、半身位置を操作することで、自分の身体が分裂し、異なる位置にいるような体験を提供する。また、分裂身体の配置によって、1つのまとまった身体と独立した2つの身体の体験を切り替えられる。
9	関西大学 光情報システム研究室	超高解像度コンピュータホログラフィによる究極の空間3D映像	コンピュータホログラフィは、薄いプレートから1メートル近い奥行きを感じる空間映像を再生できる技術です。最新のコンピュータ合成ホログラムを展示します。そこに実物があるかのように見える驚きの3D映像をご鑑賞ください。
10	情報通信研究機構	未来ICT研究所XRチーム Studio-RX	Mixed reality(MR)用のゴーグルを複数人で装着し仮想物体を操作し合う体験と、ゴーグルを装着せずにPCを使ってMRの世界にアクセスする体験を、来場者の皆さまに楽しんで頂きます。